

# 平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	中学校教育指導運営事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	03	01	04	01
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	指導課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	佐藤 智子				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内中学校教職員及び中学校生徒	意図	中学校における情報教育の充実及び生徒の学習環境の充実を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報教育の整備、特にパソコン備品等の購入等により教育内容の充実を図る。</li> <li>上級学校進学のための資料請求や購入により、生徒への進路指導の充実を図る。</li> </ul>			
事業開始から現在までの状況変化	この事業により、学習環境の整備が行われ、生徒がより情報教育（パソコン）への興味・関心が高まり、授業に於いても効率よく活用することができている。また、色々な分野において、活用の工夫が見られてきている。また、多くの生徒が自分の進路開拓を進めながら、将来を見据えた目標を持ち、上級学校への進学を希望している。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 卒業生の進路決定率	99.70	99.90	99.60	%	→→	
	②						
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果	情報機器が使いやすく整備されることにより、様々な教科で活用され、教育効果がより一層高まっている。			<b>目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）</b> 市内のすべての中学校にパソコンが整備され、様々な教科や総合的な学習の時間等でおもに情報収集に使用されている。また、得た情報から、計画を立てたり、新聞作り等に活用されている。整備はされたものの備品修理やプリンターインクなどの消耗品等は今後でも有効活用するために必要である。 また、進路に関する情報も適切な進路指導をする上で重要であり、さらなる充実が必要である。			
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,376,900	1,384,822	1,526,287			
事業費(b)(円)		1,376,900	1,384,822	1,526,287			
うち一般財源		1,376,900	1,384,822	1,526,287			
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	パソコン周辺機器の整備を行い、情報教育を推進する。	③取組の課題	パソコン周辺の整備は充実してきたが、情報教育の更なる充実を図らなければならない。
②今年度(H27)に実施した取組	パソコン用消耗品、修繕費を充実させ、情報教育の充実を図った。	④今後の改善計画	消耗品、修繕費の充実を図るとともにできれば有効なソフトウェア等も整備したい。